WARPSTAR

NEC

Aterm® WL300NC

PA-WL300NC

取扱説明書 第2版

このたびは、『Aterm WL300NC』をお選びいただきありがとうございます。ご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

XSPAN ATHEROS

技術基準適合認証品

「ソフトウェアのご使用条件」は、3ページに記載されています。添付CD-ROMを開封する前に必ずお読みください。

目次

目次 ・・2
ソフトウェアのご使用条件 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
安全に正しくお使いいただくために ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
1　ご使用にあたって ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
2　セットを確認する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
3　各部の名称とはたらき ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
4　WL300NC をパソコンに組み込む・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
5　無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続するための
無線設定を行う ・・35
6　トラブルシューティング ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・70
7　製品仕様 ・・・76

Aterm、WARPSTAR は、日本電気株式会社の登録商標です。
Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Windows Vista® は、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Business および Windows Vista® Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット（x86）版の略です。
※本商品の Windows Vista® のサポートは、Windows Vista® がプリインストールされているパソコン、Capable ロゴのついたパソコン、またはメーカーが Windows Vista® の利用を保証しているパソコンのみです。自作のパソコンはサポートしておりません。
Windows® 7は、Windows® 7 Starter、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 Enterprise および Windows® 7 Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット（x86）版または 64 ビット（x64）版の略です。
※本商品の Windows® 7のサポートは、Windows® 7がプリインストールされているパソコン、またはメーカーが Windows® 7の利用を保証しているパソコンのみです。自作のパソコンはサポートしておりません。
Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
Windows® 2000 Professional は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Atheros、XSPAN のロゴは、Atheros Comunications,Inc.の商標であり、NEC アクセステクニカ株式会社は同社の許可に基づき、同社のために当該商標を使用しています。
その他の各会社名および各製品名は、各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2007-2010
© NEC AccessTechnica, Ltd. 2007-2010
日本電気株式会社、NEC アクセステクニカ株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。

ソフトウェアのご使用条件

お客様へのお願い

添付の CD-ROM を開封される前に必ずお読みください。

このたびは、弊社 Aterm シリーズをお求めいただきありがとうございます。
本製品に添付の CD-ROM には、弊社が提供する各種ユーティリティやドライバソフトウェアが含まれています。弊社が提供するソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについては、下記の「ＮＥＣ・ＮＥＣアクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件」にご同意いただく必要がございます。

添付の CD-ROM を開封された場合は、ご同意をいただけたものと致します。

NEC・NECアクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件

日本電気株式会社・ NEC アクセステクニカ株式会社（以下「弊社」とします。）は、本使用条件とともに提供するソフトウェア製品（以下「許諾プログラム」とします。）を日本国内で使用する権利を、下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。なお、お客様が期待された効果を得るための許諾プログラムの選択、許諾プログラムの導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

1. 期間

（1） 本ソフトウェアの使用条件は、お客様が添付 CD-ROM を開封されたときに発効します。
（2） お客様は 1 ケ月以上事前に、弊社宛に書面により通知することにより、いつでも本使用条件により許諾される許諾プログラムの使用権を終了させることができます。
（3） 弊社は、お客様が本使用条件のいずれかの条項に違反されたときは、いつでも許諾プログラムの使用権を終了させることができるものとします。
（4） 許諾プログラムの使用権は、上記（2）または（3）により終了するまで有効に存続します。
（5） 許諾プログラムの使用権が終了した場合には、本使用条件に基づくお客様のその他の権利も同時に終了するものとします。お客様は、許諾プログラムの使用権の終了後、直ちに許諾プログラムおよびそのすべての複製物を破棄するものとします。

2. 使用権

（1） お客様は、許諾プログラムを一時に 1 台のコンピュータにおいてのみインストールし、使用することができます。ただし、複数のコンピュータ接続ポートを持つ Aterm シリーズに同数のコンピュータを一時に接続しご使用になるお客様は、その接続ポート数までを限度としてコンピュータにインストールし、使用することができます。
（2） お客様は、前項に定める条件に従い、日本国内においてのみ許諾プログラムを使用することができます。

3. 許諾プログラムの複製、改変、および結合

（1） お客様は、滅失、毀損などに備える目的でのみ、許諾プログラムを一部に限り複製することができます。

（2） お客様は、許諾プログラムのすべての複製物に許諾プログラムに付されている著作権表示およびその他の権利表示を付するものとします。

（3） 本使用条件は、許諾プログラムに関する無体財産権をお客様に移転するものではありません。

4. 許諾プログラムの移転など

（1） お客様は、賃貸借、リースその他いかなる方法によっても許諾プログラムの使用を第三者に許諾してはなりません。ただし、第三者が本使用条件に従うこと、ならびにお客様が保有する Aterm シリーズ、許諾プログラムおよびその他関連資料をすべて引き渡すことを条件に、お客様は、許諾プログラムの使用権を当該第三者に移転することができます。

（2） お客様は、本使用条件で明示されている場合を除き許諾プログラムの使用、複製、改変、結合またはその他の処分をすることはできません。

5. 逆コンパイルなど

（1） お客様は、許諾プログラムをリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。

6. 保証の制限

（1） 弊社は、許諾プログラムに関していかなる保証も行いません。許諾プログラムに関し発生する問題は、お客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。

（2） 前項の規定に関わらず、お客様による本商品のご購入の日から 1 年以内に弊社が許諾プログラムの誤り（バグ）を修正したときは、弊社は、かかる誤りを修正したプログラムもしくは修正のためのプログラム（以下「修正プログラム」といいます。）または、かかる修正に関する情報をお客様に提供するものとします。ただし、当該修正プログラムまたは情報をアフターサービスとして提供する決定を弊社がその裁量により行った場合に限ります。お客様に提供された修正プログラムは許諾プログラムと見なします。弊社では、弊社がその裁量により提供を決定した機能拡張のためのプログラムを提供する場合があります。このプログラムも許諾プログラムと見なします。

（3） 許諾プログラムの記録媒体に物理的欠陥（ただし、許諾プログラムの使用に支障をきたすものに限ります。）があった場合において、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から 14 日以内にかかる日付を記した領収書（もしくはその写し）を添えて、お求めになった取扱店に許諾プログラムを返却されたときには弊社は当該記憶媒体を無償で交換するものとし（ただし、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合に限ります。）これをもって記録媒体に関する唯一の保証とします。

7. 責任の制限

（1） 弊社はいかなる場合もお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、また予見し得た場合を含みます。）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害について一切責任を負いません。また弊社が損害賠償責任を負う場合には、弊社の損害賠償責任はその法律上の構成の如何を問わずお客様が実際にお支払いになった Aterm シリーズの代金額をもってその上限とします。

8. その他

（1） お客様は、いかなる方法によっても許諾プログラムおよびその複製物を日本国から輸出してはなりません。

（2） 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

以上

本商品に添付の CD-ROM について

添付の CD-ROM には下記内容のソフトウェアやファイルが収録されています。ご使用の際には、表示される「メニュー画面」をよくお読みください。

① 無線 LAN カードの無線 LAN のセキュリティ設定や状態表示を行う「サテライトマネージャ」（Windows® 版）
② 無線 LAN カード用のドライバー式（Windows® 版）
※ WL300NC（無線 LAN カード）は、Windows® Me ではご使用になれません。

CD-ROM の使い方

1. パソコンを起動し、添付の CD-ROM（ユーティリティ集）を CD-ROM ドライブにセットする
2. 表示される画面に従ってクリックする

（使用上のご注意）

Windows Vista®/Windows® 7 でご使用の方

・添付の CD-ROM をセットしても「メニュー画面」は起動しません。［自動再生］画面の［Menu.exe の実行］をクリックしてください。
・CD-ROM をパソコンから取り出す時には、「メニュー画面」を閉じたあとに行ってください。
・Windows Vista®/Windows® 7 でサテライトマネージャ、ドライバとユーティリティのアンインストールを実行する場合は、Administrator（権限のあるアカウント）でログオンしてください。

Windows® XP/2000 Professional でご使用の方

・添付の CD-ROM をセットしても「メニュー画面」が起動しない場合は、以下の操作を行います。
　① Windows® の［スタート］をクリックし、［ファイル名を指定して実行］を選択する
　②名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と ¥menu.exe と入力し、［OK］をクリックする
　　（例： CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q ： ¥menu.exe）
　　また、パソコンにより異なりますが、自動起動しないようにするには、「Shift」キーを押しながら CD-ROM をセットします。
・CD-ROM をパソコンから取り出す時には、「メニュー画面」を閉じたあとに行ってください。
・Windows® XP/2000 Professional でサテライトマネージャ、ドライバのアンインストールを実行する場合は、Administrator（権限のあるアカウント）でログオンしてください。

CD-ROM の動作環境

● Windows Vista® または、Windows® 7/XP/2000 Professional が正しく動作し、CD-ROM ドライブが使用できること。

● 推奨環境

Windows® の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ
ハードディスクの空き容量： 40MB 以上
メモリ容量： Windows® 7 の場合、1GB 以上を推奨
Windows Vista® の場合、512MB 以上を推奨
Windows® XP/2000 Professional の場合、256MB 以上を推奨
800 × 600High-Color 以上表示可能なビデオカードを備えたパソコンと、同解像度以上に対応したカラーモニタ

お知らせ

●表示画面
・サイズ ：800 × 600 ピクセル以上
・色 ：High-Color（24 ビット）以上
上記以外の設定でも表示はできますが、画像にモアレ模様や色ずれが発生する場合があります。

●「メニュー画面」と「らくらく無線スタート」「サテライトマネージャ」の画面がお互いの画面の背面に隠れて消えてしまった場合には、次の操作で画面を切り替えることができます。
・Windows® ：Alt キーを押しながら、Tab キーを押す

安全に正しくお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくための表示について

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

警　告　：人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注　意　：人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

STOP お願い　：本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

図記号の説明

■ 警告・注意を促す記号

発火注意　感電注意

■ 行為を禁止する記号

一般禁止　分解禁止　水ぬれ禁止　ぬれ手禁止　火気禁止

■ 行為を指示する記号

電源プラグをコンセントから抜け

警　告

こんなときには

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐにパソコンの電源を切り、接続コード類や本体の接続を取り外し、煙が出なくなるのを確認してから、別紙に示す修理受け付け先にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

- 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一、内部に水などが入った場合は、すぐにパソコンの電源を切り、接続コード類や本体の接続を取り外し、別紙に示す修理受け付け先にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災、感電、故障の原因となります。

⚠ 警　告

- 本商品の内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐにパソコンの電源を切り、接続コード類や本体の接続を取り外し、別紙に示す修理受け付け先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 万一、落としたり破損した場合は、すぐにパソコンの電源を切り、接続コード類や本体の接続を取り外し、別紙に示す修理受け付け先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

禁止事項

- 本商品は家庭用のOA機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。
  社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

- 本商品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

その他の注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の接続を取り外してください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。

- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカなどが誤動作するなどの原因となることがあります。
  また、医療電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。

⚠ 注　意

- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。

- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

設置場所

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。

- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

- 雷が鳴りだしたら、接続コード類に触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。

- 取扱説明書にしたがって接続してください。
  間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
  ・振動が多い場所
  ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場合
  ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 電気製品・ AV ・ OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）
  ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- 無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してお使いください。
- 本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。またコードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。

禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 動作中に外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、PC カードコネクタの接続部には絶対に触れないでください。

お願い

日ごろのお手入れ

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ずパソコンから取り外してください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、柔らかい布でからぶきしてください。
  ただし、PC カードコネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対にふかないでください。
- 水滴がついている場合は、乾いた布でふき取ってください。

無線 LAN に関する注意

- 最大 300Mbps（規格値）や最大 54Mbps（規格値）、最大 11Mbps（規格値）は、IEEE802.11 の無線 LAN 規格で定められたデータ転送クロックの最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）ではありません。
- 本製品は他社製 IEEE802.11n 準拠製品との相互接続性を保証しておりません。
- 5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波を屋外で使用することは、電波法により禁止されています。
- 無線 LAN の伝送距離や伝送速度は壁や家具・什器などの周辺環境により大きく変動します。

その他注意事項

- 通信中にパソコンの電源が切れたり、本商品を取り外したりすると通信ができなくなったり、データが壊れたりします。重要なデータは元データと照合してください。
- 本商品プラスチック部品の一部が、光の具合によってはキズのように見える場合があります。
  プラスチック製品の製造過程で生じることがありますが、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

無線LAN製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。
●不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

　本来、無線LAN端末や無線LANアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

　セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

　セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

1 ご使用にあたって

「Aterm WL300NC」は、IEEE802.11n、IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11gのいずれかの無線LANアクセスポイント（親機）とワイヤレス通信できるPCカードタイプの無線LANカードです。

- CardBus規格に準拠したPCカードスロット（TYPE Ⅱ）を搭載し、対応OSが搭載されているPC-AT互換機でご使用になれます。
- 対応OSはWindows Vista® およびWindows® 7/XP/2000 Professional（日本語版）のみです。

ご使用方法にあわせて次のように参照してください。

「2　セットを確認する」（☛P16）

↓

「3　各部の名称とはたらき」（☛P17）

↓

「4　WL300NCをパソコンに組み込む」
→パソコンとの接続（サテライトマネージャとドライバをインストールする）（☛P19）
→パソコンとの接続（ドライバの手動インストール）（☛P24）

↓

「5　無線LANアクセスポイント（親機）に接続するための無線設定を行う」
→らくらく無線スタートで設定する（☛P35）
→サテライトマネージャで設定する（☛P38）
→ワイヤレスネットワークの接続（Windows Vista® およびWindows® 7/XPの場合）で設定する（☛P46）

お知らせ

●WL300NCは、無線LAN端末（子機）専用です。無線LANアクセスポイント（親機）に装着してご使用になることはできません。
●他社のIEEE802.11nに準拠した製品では、性能が発揮できない、または接続できない場合があります。

■ワイヤレス機器の使用上の注意

本商品は、IEEE802.11n、IEEE802.11aモードW52帯、W53帯、W56帯、J52帯、IEEE802.11gまたは、IEEE802.11g+bモード（1～13)、IEEE802.11bモード（1～13）の無線LANアクセスポイント（親機）のチャネルを検出し、通信することができます。

従来のIEEE802.11aのチャネルと新しいIEEE802.11aのチャネルは次の通りです。

タイプ	チャネル	周波数帯域	補足
J52	34, 38, 42, 46ch	5.2GHz帯 (5150-5250MHz)	従来のIEEE802.11aのチャネル
W52	36, 40, 44, 48ch	5.2GHz帯 (5150-5250MHz)	従来のIEEE802.11aの周波数を10MHzずらした、諸外国と同じ割り当てのチャネル
W53	52, 56, 60, 64ch	5.3GHz帯 (5250-5350MHz)	IEEE802.11aで利用可能となる、諸外国と同じ割り当てのチャネル
W56	100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch	5.6GHz帯 (5470-5725MHz)	新たにIEEE802.11aで利用可能となる新チャネル

ただし、W52帯、W53帯、W56帯とJ52帯は使用している周波数帯／チャネルが異なるため通信できない組み合わせがあります。
以下の相互接続一覧表を参照のうえ、ご注意ください。
Aterm子機のバージョンアップ対応機種などの最新情報は、別紙に示すお問い合わせ先のホームページなどでご確認ください。

		従来のIEEE802.11a対応の無線LANアクセスポイント（親機）で新チャネルに対応していない場合	従来のIEEE802.11a対応の無線LANアクセスポイント（親機）で新チャネルに対応した場合	新IEEE802.11a対応W52・W53無線LANアクセスポイント（親機）	新IEEE802.11a対応W52·W53·W56無線LANアクセスポイント（親機）
		J52	W52	W52/W53	W52/W53/W56
本商品 WL300NC (新IEEE802.11a対応)	J52 W52 W53 W56	○ (J52で最大4ch)	○ (W52で最大4ch)	◎※1 (W52/W53で最大8ch)	◎ (W52/W53/W56で最大19ch)

◎：W52帯 (5150-5250MHz)、W53帯 (5250-5350MHz)、W56帯 (5470-5725MHz) を使用して、最大19チャネルから選択が可能です。
　※1　W56を使用していないので最大8チャネルから選択が可能です。

○：W52帯（5150-5250MHz)、J52帯（5150-5250MHz）を使用して、最大4チャネルから選択が可能です。

×：利用不可。

- 本商品は、技術基準適合証明を受けています。
- 本商品は、5GHz 帯域の電波を使用しております。なお、5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波を屋外で使用することは、電波法により禁じられています。
- W53（52/56/60/64ch）または W56（100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch）を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
  - ・各チャネルの通信開始前に、1 分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
  - ・通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
- IEEE802.11n（2.4GHz）、IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
- IEEE802.11n（2.4GHz）、IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

2.4	DS/OF	4
■	■	■

2.4　:2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
DS/OF :DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
4　:想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
■■■ :全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

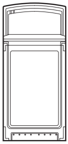
（1）本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
（2）万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
（3）その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、別紙に示すお問い合わせ先にお問い合わせください。

2 セットを確認する

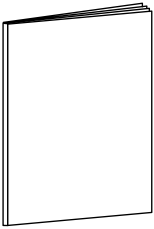
設置を始める前に、構成品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、別途添付のお問い合わせ先にご連絡ください。

●構成品

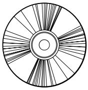
□WL300NC



□取扱説明書（本書）

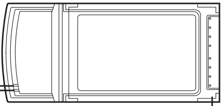


□CD-ROM（ユーティリティ集）



3 各部の名称とはたらき

WL300NC



① PC カードコネクタ

パソコンの PC カードスロットに取り付けて接続します。

② PWR ランプ／ ACT ランプ

PWR ランプ、ACT ランプのつきかた	WL300NC（無線 LAN カード） の状態
2 つのランプが同時に緑点滅	通信中(通信量により点滅速度が変化します)
2 つのランプが同時に遅く緑点滅	通信待機中(通信可能状態ですが、データ送受信が行われていません)
2 つのランプが交互に遅く緑点滅	無線 LAN アクセスポイント(親機)サーチ中(無線接続が確立されていません) ※
2 つのランプが消灯	電源が入っていないとき(無線接続設定がされていないとき、またはドライバ無効の状態)

※無線接続が確立していない場合は、「4　WL300NC をパソコンに組み込む」(☛P18)、「5　無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続するための無線設定を行う」(☛P35）を参照して無線接続を確立してください。

お願い

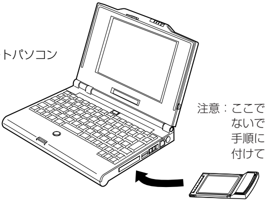
●WL300NC（無線 LAN カード）を同じパソコンに複数同時に使用することはできません。また、他のネットワークデバイス（Ethernet ポートデバイスなど）とも同時に使用することはできませんので、1 台のパソコンに対して使用するネットワークデバイスは 1 つだけにしてください。

●PC カードコネクタには手を触れないでください。故障の原因となります。

4　WL300NC をパソコンに組み込む

ここでは、WL300NC を無線 LAN 端末（子機）として使用するための接続設定を次の手順で説明しています。ご利用の環境にあわせて設定してください。
①パソコンとの接続（ドライバのインストール）
・サテライトマネージャとドライバをインストールする場合（☛P19）
・ドライバを手動でインストールする場合（☛P24）
②設定する
・らくらく無線スタートで設定する場合（☛P35）
・サテライトマネージャで設定する場合（☛P38）
・ワイヤレスネットワークの接続（Windows Vista® および Windows® 7/XP の場合）で設定する場合（☛P46）

※無線 LAN アクセスポイント（親機）によって「らくらく無線スタート」でも設定することができます。ご利用の無線 LAN アクセスポイント（親機）が「らくらく無線スタート」に対応しているかどうかは、無線 LAN アクセスポイント（親機）に添付の取扱説明書（「つなぎかたガイド」など）を参照してください。



WL300NC を無線 LAN 端末（子機）としてご利用になれる OS は、Windows Vista® および Windows® 7/XP/2000 Professional のみです。Macintosh ではご利用になれません。
WL300NC（無線 LAN カード）は、CardBus 規格に準拠した PC カードスロットがあるパソコンに取り付けることができます。

お願い

●WL300NC はパソコンからの給電のみで動作しますが、パソコンによっては、サスペンド機能などにより給電が停止した場合、通信を行う前にカードを挿し直す必要がある場合があります。あらかじめサスペンド機能を無効にしてご使用いただくことをお勧めします。
●ETHERNET インタフェースを搭載したパソコンの場合、LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させないと WL300NC のドライバが正しくインストールできない場合があります。LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させてから、ドライバのインストールを行ってください。
●無線 LAN 内蔵パソコンに WL300NC（無線 LAN カード）を装着して使う場合は、必ず内蔵無線 LAN の［デバイスマネージャ］の［ネットワークアダプタ］にある内蔵無線アダプタを［無効］に設定してからご使用ください。
●WL300NC と無線 LAN アクセスポイント（親機）との距離は、1m 以上離してお使いください。無線 LAN アクセスポイント（親機）と近すぎると通信速度が低下する場合があります。

パソコンとの接続（サテライトマネージャとドライバをインストールする）

サテライトマネージャとドライバをインストールする

WL300NC を設定するためのユーティリティ「サテライトマネージャ」とドライバをパソコンにインストールします。

1 **Windows Vista® または Windows® 7/XP/2000 Professional を起動する**

Administrator（権限のあるアカウント）でログオンしてください。

2 **添付の CD-ROM（ユーティリティ集）を CD-ROM ドライブにセットする**

［自動再生］画面が表示された場合は、［Menu.exe の実行］をクリックします。
「メニュー画面」が表示されます。

「メニュー画面」が表示されないときは（☛P5）

3 **WL300NC が該当する項目を選択してクリックする**

クリックする

（画面は Windows Vista® の場合の例です。）
※画面はバージョンによって異なる場合があります。

Windows® XP/2000 Professional の場合は、下の画面が表示されます。

クリックする

※画面はバージョンによって異なる場合があります。

（次ページに続く）

4 **ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、［続行］または［はい］をクリックする**

ユーザーアカウント制御の画面は、タスクバーに点滅表示される場合があります。点滅をクリックして画面を表示してください。

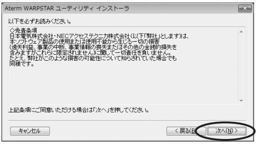
（画面は Windows Vista® の場合の例です。）

（画面は Windows Vista® の場合の例です。）

5 **［Aterm WARPSTAR ユーティリティ］画面で［次へ］をクリックする**

6 **［次へ］をクリックする**

7 **画面の同意書を読み、同意できる場合は［次へ］をクリックする**

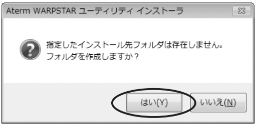


8 **表示されたインストール先へインストールする場合は、［次へ］をクリックする**

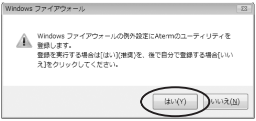
インストール先を変更する場合は、［参照］をクリックして変更してください。

9 **次の画面が表示された場合は、［はい］をクリックする**

インストールが開始されます。

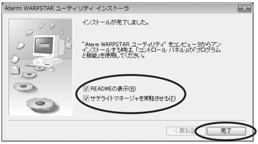


10 次の画面が表示された場合は、[はい] をクリックする



11 [README の表示] と [サテライトマネージャを常駐させる] にチェックが入っている（☑）ことを確認し、[完了] をクリックする

サテライトマネージャがインストールされました。

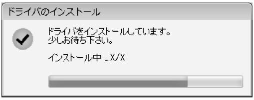


12 README をよく読み、[README] 画面を閉じる

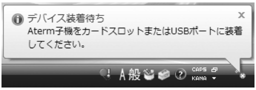
インストールが完了し、サテライトマネージャが起動します。

13 未インストール状態のドライバが自動的にインストールされる

Windows® XP/2000 Professional の場合は、この自動インストールはありません。手順 17 にお進みください。

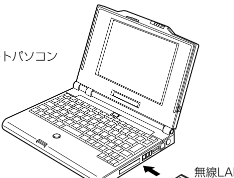


14 通知領域（タスクトレイ）に右図のバルーンが表示されることを確認する



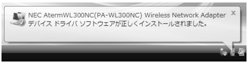
15 WL300NC（無線 LAN カード）をパソコンに取り付ける

ドライバが自動的にインストールされます。



（次ページに続く）

16 通知領域（タスクトレイ）に右図のバルーンが表示されることを確認する

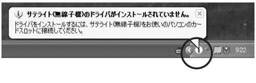


以上で Windows Vista®/Windows® 7 でのインストールは完了です。CD-ROM を取り出して、無線 LAN 端末（子機）の無線設定手順に進みます。

・らくらく無線スタートで設定する場合
→「らくらく無線スタートで設定する」（☛P35）

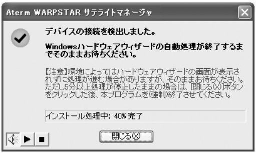
・サテライトマネージャで設定する場合
→「サテライトマネージャで設定する」（☛P38）

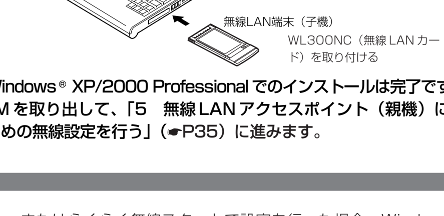
17 Windows®XP/2000 Professional の場合は、通知領域（タスクトレイ）にサテライトマネージャが表示されることを確認する



18 WL300NC（無線 LAN カード）をパソコンに取り付ける

ドライバが自動的にインストールされます。ドライバ自動インストール中は、さまざまな画面が表示されますが、ドライバのインストールが完了するまで操作しないでください。





以上で Windows® XP/2000 Professional でのインストールは完了です。CD-ROM を取り出して、「5　無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続するための無線設定を行う」（☛P35）に進みます。

お知らせ

●サテライトマネージャ、またはらくらく無線スタートで設定を行った場合、Windows® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」は無効に設定されます。
Windows® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」で無線の設定を行いたい場合は、「ワイヤレスネットワークの設定」を「有効」に設定する必要があります。「ⓘWindows® XP でサテライトマネージャを使用して設定を行った場合」（☛P47）

ドライバをアンインストール（削除）するには

WL300NC のドライバを正常にインストールできなかった場合やパソコンをWL300NC のドライバをインストール前の状態に戻したい場合は、WL300NC のドライバをアンインストールします。

※Aterm WARPSTAR ユーティリティがインストールされている必要があります。インストール方法については「サテライトマネージャとドライバをインストールする」（☛P19）を参照してください。

■ Windows Vista®/Windows® 7 の場合

次の手順でいったんドライバとユーティリティを削除してから、もう一度、ドライバとユーティリティをインストールしてください。

①通知領域（タスクトレイ）の［サテライトマネージャ］アイコンを右クリックし、［終了］を選択する。

②WL300NC を取り外す（☛P34）

③［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［Aterm WARPSTAR ユーティリティ］－［ドライバとユーティリティの削除］をクリックする

④ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、［続行］または［はい］をクリックする

⑤画面の指示に従って、アンインストールを行う

■ Windows® XP/2000 Professional の場合

次の手順でいったんドライバを削除してから、もう一度、ドライバをインストールしてください。

①通知領域（タスクトレイ）の［サテライトマネージャ］アイコンを右クリックし、［終了］を選択する。

②WL300NC を取り外す（☛P34）

③［スタート］－［すべてのプログラム］－［Aterm WARPSTAR ユーティリティ］－［ドライバのアンインストール］をクリックする

④アンインストールするドライバを選択し、［実行］をクリックする

⑤画面の指示に従ってアンインストールを行う

パソコンとの接続（ドライバの手動インストール）

WL300NC のドライバを手動でインストールして設定を行う場合は、次の手順で設定を行ってください。

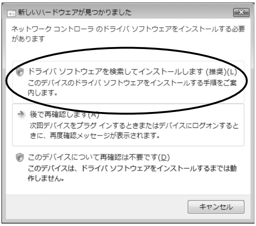
■ Windows Vista® の場合

1 **Windows Vista® を起動する**

ここでは、まだ添付の CD-ROM（ユーティリティ集）をセットしないでください。

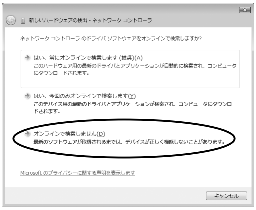
2 **パソコンに WL300NC を取り付ける**

3 **［ドライバソフトウェアを検索してインストールします］をクリックする**



4 **ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、［続行］をクリックする**

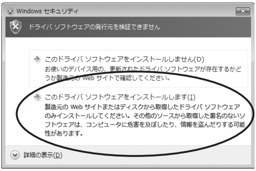
5 **次の画面が表示された場合は、［オンラインで検索しません］をクリックする**



6 添付の CD-ROM（ユーティリティ集）をセットする

しばらくすると「メニュー画面」が表示されるので、画面を閉じてから手順 7 に進みます。また、「メニュー画面」が表示されない場合も、手順 7 に進みます。

7 [このドライバソフトウェアをインストールします]をクリックする



8 ドライバがインストールされる

9 インストールが完了したら、［閉じる］をクリックする

10 CD-ROM を取り出す

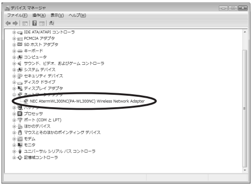
（次ページに続く）

11 WL300NC のドライバのインストールを確認する

①[スタート]（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］をクリックする
②[システムとメンテナンス］ － ［システム］をクリックする

③タスク欄の［デバイスマネージャ］をクリックする

④ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、［続行］をクリックする
⑤[ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑥[NEC AtermWL300NC（PA-WL300NC）Wireless Network Adapter］が表示されていることを確認する



■ Windows® 7 の場合

1 **Windows® 7 を起動する**

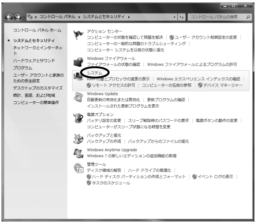
2 **パソコンに WL300NC を取り付ける**

※通知領域（タスクトレイ）上に「デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールできませんでした。」というバルーンが表示される場合があります。

3 **［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］をクリックする**

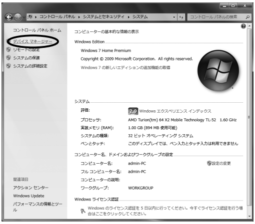
4 **［システムとセキュリティ］をクリックする**

5 **［システム］をクリックする**



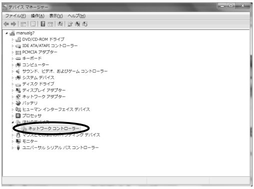
（次ページに続く）

6 ［デバイスマネージャー］をクリックする

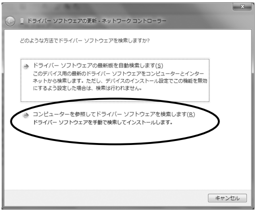


7 ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、［はい］をクリックする

8 ［ほかのデバイス］より［ネットワークコントローラー］を右クリックし、［ドライバーソフトウェアの更新］をクリックする



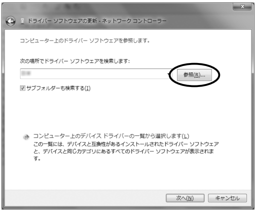
9 ［コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します］をクリックする



10 添付の CD-ROM（ユーティリティ集）をセットする

※「自動再生」画面が表示された場合は、 をクリックして画面を閉じてください。

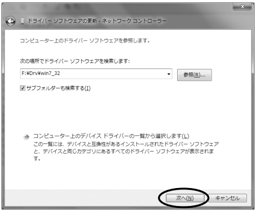
11 ［参照］をクリックする



12 CD-ROM ドライブから［Drv］－［Win7_32］を選択し、［OK］をクリックする

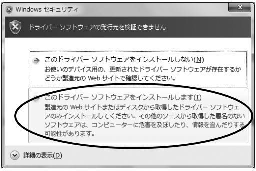
Windows® 7 の 64 ビット版をご利用の場合は、［Drv］－［Win7_64］を選択します。

13 ［次へ］をクリックする

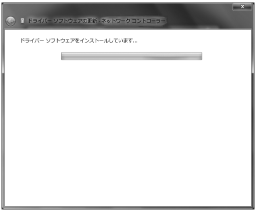


14 ［このドライバーソフトウェアをインストールします］をクリックする

※「自動再生」画面が表示された場合は、 をクリックして画面を閉じてください。

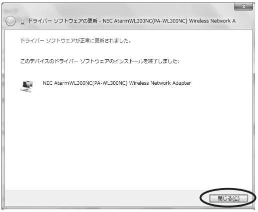


15 ドライバがインストールされる



（次ページに続く）

16 インストールが完了したら、[閉じる]をクリックする

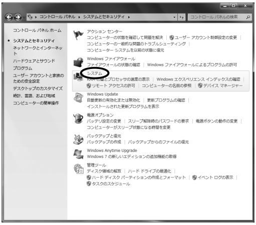


17 CD-ROM を取り出す

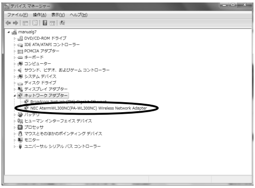
18 WL300NC のドライバのインストールを確認する

①[スタート](Windows® のロゴボタン)–［コントロールパネル］をクリックする
②[システムとセキュリティ］をクリックする

③[システム］をクリックする
④タスク欄の［デバイスマネージャー］をクリックする
⑤ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[はい］をクリックする



⑥[ネットワークアダプター］をダブルクリックする
⑦[NEC AtermWL300NC（PA-WL300NC）Wireless Network Adapter］が表示されていることを確認する



■ Windows® XP/2000 Professional の場合

ここでは Windows® XP を例に説明します。Windows® 2000 Professional ではドライバが収録されている CD-ROM のフォルダが異なりますので手順 7 に注意してください。

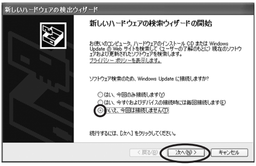
1 **Windows® XP を起動する**

2 **添付の CD-ROM（ユーティリティ集）をセットする**

しばらくすると「メニュー画面」が表示されるので、画面を閉じてから手順 3 に進みます。また、「メニュー画面」が表示されない場合も、手順 3 に進みます。

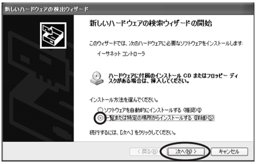
3 **パソコンに WL300NC を取り付ける**

4 **「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面で「ソフトウェア検索のため、Windows Update に接続しますか？」の画面が表示された場合は、［いいえ、今回は接続しません］を選択し、［次へ］をクリックする**



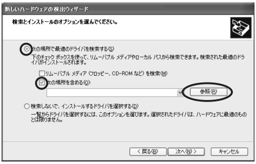
5 **「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面で［インストール方法を選んでください］の画面が表示された場合には、［一覧または特定の場所からインストールする（詳細）］を選択し、［次へ］をクリックする**

Windows® 2000 Professional の場合
［デバイスに最適なドライバを検索する］を選択し、［次へ］をクリックします。



6 **［次の場所で最適のドライバを検索する］と［次の場所を含める］にチェックし、［参照］をクリックする**

Windows® 2000 Professional の場合
［場所を指定］を選択し、［次へ］をクリックします。

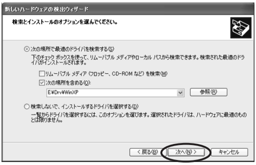


（次ページに続く）

7 CD-ROM ドライブから［Drv］－［WinXP］を選択し、［OK］をクリックする

Windows® 2000 Professional の場合、［Drv］－［Win2000］を選択します。

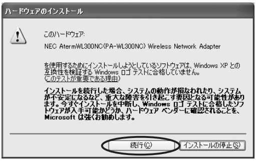
8 ［次へ］をクリックする



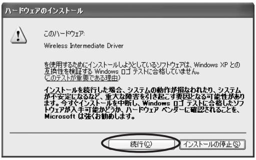
(この画面は、CD-ROM ドライブ名がEの場合です)

9 次の画面が表示されたときは［続行］をクリックする

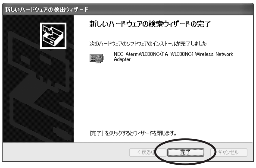
Windows® 2000 Professional で「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されたときは、［はい］をクリックします。



10 次の画面が表示されたときは［続行］をクリックする



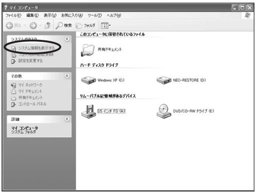
11 インストールが完了したら、［完了］をクリックする



12 CD-ROM を取り出す

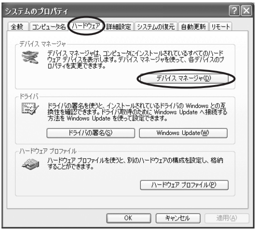
13　WL300NCドライバのインストールを確認する

①［スタート］－［マイコンピュータ］－［システム情報を表示する］をクリックする

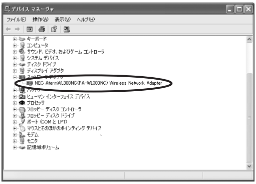


②［ハードウェア］タブをクリックする
③［デバイスマネージャ］をクリックする

※画面は、Windows® XP（Service Pack 2）の場合の例です。
Windows®のアップデート状況によって［デバイスマネージャ］ボタンの場所が異なります。



④［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑤［NEC AtermWL300NC（PA-WL300NC) Wireless Network Adapter］が表示されていることを確認する



こんなときは

手順13で［NEC AtermWL300NC (PA-WL300NC) Wireless Network Adapter］の頭に黄色い①が表示されたときは、正しくインストールされていません。いったんアンインストールしてから、インストールをやり直してください。（☛P23）
手順13で他のネットワークアダプタが有効になっていると正しく動作しない場合があります。
［NEC AtermWL300NC (PA-WL300NC) Wireless Network Adapter］以外のネットワークアダプタは、［操作］－［プロパティ］をクリックして［全般］タブの［デバイスの使用状況］で［このデバイスを使わない（無効)］をチェックして無効にしてください。

WL300NC の取り扱いについて

■取り付けるとき

- **WL300NC のコネクタ部分に手を触れないようにしてください。**
- **コネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。**

■取り外すとき

- **WL300NC を取り外すときは、以下の操作で PC カードを取り外せる状態にしてから取り外してください。**

①タスクトレイの PC カードアイコンをクリックする

②［NEC AtermWL300NC（PA-WL300NC）Wireless Network Adapter を安全に取り外します］をクリックする

※Windows® 7 の場合は［AtermWL300NC の取り出し］をクリックします。

※Windows® 2000 Professional の場合は［NEC AtermWL300NC（PA-WL300NC）Wireless Network Adapter の停止］をクリックします。

③「このデバイスはコンピュータから安全に取り外すことができます。」が表示されたら［OK］をクリックして画面を閉じる

※Windows® 7/XP/2000 Professional の場合は「'NEC AtermWL300NC (PA-WL300NC) Wireless Network Adapter' は（コンピューターから）安全に取り外すことができます。」が表示されたら、［OK］をクリックして画面を閉じます。Windows® XP の場合は をクリックして画面を閉じます。

④ WL300NC を取り外す

5 無線LANアクセスポイント（親機）に接続するための無線設定を行う

無線LANアクセスポイント（親機）との無線設定を行います。

無線LANアクセスポイント（親機）によっては「らくらく無線スタート」で設定することができます。ご利用の無線LANアクセスポイント（親機）が「らくらく無線スタート」に対応しているかどうかは、無線LANアクセスポイント（親機）に添付の取扱説明書（「つなぎかたガイド」など）を参照してください。

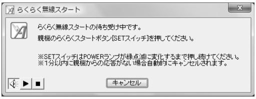
無線LANアクセスポイント（親機）が「らくらく無線スタート」に対応している場合
　→らくらく無線スタートで設定する（☛ 下記）

無線LANアクセスポイント（親機）が「らくらく無線スタート」に対応していない場合
　→サテライトマネージャで設定する（☛P38）

らくらく無線スタートで設定する

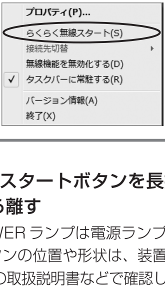
1 **次の画面が表示されることを確認する**

※1分以内に次の手順に進まない場合は自動的にキャンセルされます。



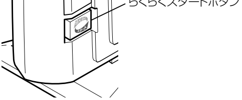
!

らくらく無線スタートが起動しない場合は、タスクトレイにあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、［らくらく無線スタート］をクリックします。

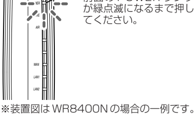


2 **無線LANアクセスポイント（親機）のらくらくスタートボタンを長押しし、前面のPOWERランプが緑点滅になったら離す**

※無線LANアクセスポイント（親機）によっては、POWERランプは電源ランプと表示されている場合があります。らくらくスタートボタンの位置や形状は、装置によって異なります。無線LANアクセスポイント（親機）の取扱説明書などで確認してください。



※装置図はWR8400Nの場合の一例です。



※装置図はWR8400Nの場合の一例です。

（次ページに続く）

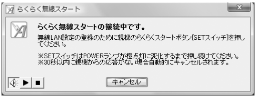
POWER ランプが約 10 秒間赤点灯した場合は、「らくらく無線スタート」に失敗しています。
無線 LAN アクセスポイント（親機）側の取扱説明書など（「機能詳細ガイド」など）を参照して、無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化を設定してください。MAC アドレスフィルタリングで接続できる無線 LAN 端末（子機）の登録がいっぱいになっていないことを確認してください。
確認後、再度手順 1（☛P35）から設定を行ってください。

3 らくらく無線スタートの準備ができているか確認する

※30 秒以内に次の手順に進まない場合は自動的にキャンセルされます。

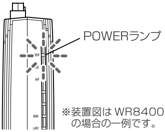
WL300NC（無線 LAN カード）を接続したパソコン

次の画面が表示されることを確認します。



無線 LAN アクセスポイント（親機）

登録準備ができると前面の POWER ランプが橙点滅します。



※装置図は WR8400N の場合の一例です。

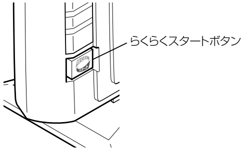
どちらか片方だけが上記の状態になっている場合は

他の無線 LAN アクセスポイント（親機）または無線 LAN 端末（子機）と設定を行おうとしている場合があります。
WL300NC（無線 LAN カード）を接続したパソコンで［キャンセル］をクリックし、無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源を入れ直して手順 1（☛P35）から設定をやり直してください。

どちらも上記の状態にならない場合は

「らくらく無線スタート」がご利用になれません。その場合は、サテライトマネージャで無線設定を行います。サテライトマネージャでの設定のしかたについては、「サテライトマネージャで設定する」（☛P38）を参照してください。

4 無線 LAN アクセスポイント（親機）のらくらくスタートボタンを長押しし、手順 5 の前面の POWER ランプが橙点灯状態になったら離す



※装置図は WR8400N の場合の一例です。

> **!** らくらくスタートボタンの位置や形状は、装置によって異なります。無線 LAN アクセスポイント（親機）の取扱説明書などで確認してください。

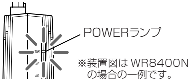
5 無線設定が完了していることを確認する

WL300NC（無線 LAN カード）を接続したパソコン

次の画面が表示されることを確認します。

無線 LAN アクセスポイント（親機）

前面の POWER ランプが約 10 秒間橙点灯することを確認します。



※装置図は WR8400N の場合の一例です。

> **!** 失敗した場合は、POWER ランプが約 10 秒間赤点灯します。手順 1 の (!)（☛P35）から設定をやり直してください。

※前面の POWER ランプは、約 10 秒間橙点灯したあと緑点灯に戻ります。

(!) らくらく無線スタートで設定を行う場合のご注意

- 無線 LAN アクセスポイント（親機）側に暗号化設定がされていない場合は、らくらく無線スタートでの設定はできません。
- 無線 LAN アクセスポイント（親機）側で「MAC アドレスフィルタリング機能」を利用しているとき、設定する無線 LAN 端末（子機）が登録されていない場合は、らくらく無線スタートでの無線設定登録のときに、MAC アドレスフィルタリングにも新たに登録されます。ただし、MAC アドレスフィルタリングのエントリーが制限数いっぱいに登録されている場合は、らくらく無線スタートは失敗になります。
- 無線 LAN アクセスポイント（親機）側で「ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）」を「有効」に設定している場合でもらくらく無線スタートでの設定をすることができます。

サテライトマネージャで設定する

サテライトマネージャは、WL300NC の無線の通信モードの変更、ネットワーク名（SSID）の変更、無線 LAN の設定をすることができます。ネットワークのセキュリティ保護のためにも暗号化の設定を行うことをお勧めします。
Windows Vista® および Windows® 7/XP の場合は、内蔵されている「ワイヤレスネットワークの接続（Windows Vista® および Windows® 7/XP の場合）」で設定できます。詳しくは、P46 を参照してください。

サテライトマネージャで設定する

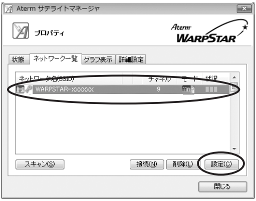
1 ［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［AtermWARPSTAR ユーティリティ］－［サテライトマネージャ］をクリックしてサテライトマネージャを起動する

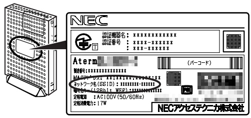
2 通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択する

3 ［ネットワーク一覧］タブをクリックする

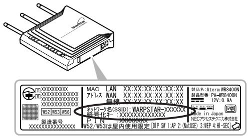
4　接続先のネットワーク名（SSID）をクリックして、［設定］をクリックする

※無線LANアクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線LANアクセスポイント（親機）の底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-xxxxxx」（xxxxxxは無線LANアクセスポイント（親機）の側面に記載されているMACアドレスの下6桁）です。
新しく接続先を登録する場合は、［新規登録］をクリックしてください。

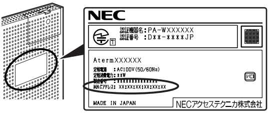




※装置図およびラベルは一例です。



※装置図およびラベルは一例です。



※装置図およびラベルは一例です。

（次ページに続く）

5 無線LANの設定を行う

使用する無線LANアクセスポイント（親機）にあわせて次のように設定します。
暗号化の設定を行う場合は必ず無線LANアクセスポイント（親機）側を先に設定してください。

[ネットワーク名（SSID)]

無線LANアクセスポイント（親機）の設定にあわせてネットワーク名（SSID）を入力します。手順4で使用するネットワーク名（SSID）を選択した場合は、そのままにしておきます。

[暗号化モード]

無線LANアクセスポイント（親機）の設定にあわせて「暗号化モード」で暗号化の方法を選択して、設定したい「暗号強度」や「暗号化キー」などを入力します。
※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

・8～63桁の場合
英数記号
【0～9、a～z、A～Z、下記の記号】

!	%	)	-	;	?	]	{
"	&	*	.	<	@	^	|
#	'	+	/	=	[	_	}
$	(	,	:	>	\	`	~

※「?」は、無線LANアクセスポイント（親機）によっては使用できない場合があります。
※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

・64桁の場合
16進数【0～9、a～f、A～F】

暗号化キーは半角で入力します。

6 [登録] をクリックする

お知らせ

●［詳細設定］タブをクリックすると、［詳細設定］で次の設定が行えます。
Windows Vista®/Windows® 7の場合、設定を有効にするには［登録］をクリックしてください。

※画面は Windows Vista® の場合の例です。

・**省電力モード**※2
ノートパソコンなどのバッテリーを長く持たせたいときに設定します。ただし、「有効」や「最大」に設定するとスループットが低下します。

・**送信出力**※2
他のネットワークへの干渉を減らしたいときや、ノートパソコンなどのバッテリーを長く持たせたいときに設定します。

・**ストリーミングモード**
無線通信状態を監視するために無線 LAN 端末（子機）が行っている、無線 LAN ネットワークの参照（スキャン）動作を制限して、スキャン動作の影響で発生するストリーミング映像の一時的な乱れなどをおさえます。「自動」で動画や音声の途切れなどが発生する場合は「ON」に設定してください。

※1 Windows® XP/2000 Professional の場合は、無線機能の有効化／無効化、Windows® XP のワイヤレスネットワークの有効化／無効化の設定も行うことができます。

※2 Windows® 7の 64 ビット版をご利用の場合は、「省電力モード」と「送信出力」はグレーアウトして設定できません。

●WR8400N と IEEE802.11n モードで暗号化を行う場合は、WPA-PSK（AES）モード限定になります。
それ以外の暗号化モード（WEP、TKIP）は IEEE802.11a、IEEE802.11b もしくは IEEE802.11g での接続となります。
（2010 年 1 月現在）

お願い

●同じネットワーク名（SSID）を設定した複数の無線 LAN アクセスポイント（親機）間をローミング接続する場合、サテライトマネージャの［ネットワーク一覧］のチャネル表示が［状態］の表示と異なる場合があります。［状態］表示の値を参照してください。

●2 台目以降の無線 LAN 端末（子機）を追加する場合は、1 台目と同じ暗号化キーを入力してください。

（次ページに続く）

サテライトマネージャの使い方

通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューでは次のことができます。

[プロパティ]：
通信モードの設定、暗号化の設定をすることができます。
［状態］タブで無線LANアクセスポイント（親機）との接続状態を詳細に確認することができます。
無線の接続状態が「普通」または「強い」になることを確認してください。「普通」または「強い」と表示されないときは、「普通」または「強い」と表示される位置までパソコンを移動してください。

[らくらく無線スタート]：
無線LANアクセスポイント（親機）とのネットワーク名（SSID）や暗号化設定を簡単に行うことができます。（☛P35）

[接続先切替]：
サテライトマネージャで設定した接続先（無線LANアクセスポイント（親機））を切り替えて使用できます。

[無線機能を無効化する／無線機能を有効化する]（Windows Vista®/Windows® 7の場合のみ）：
［無線機能を無効化する］または［無線機能を有効化する］をクリックすると、無線機能を無効または有効に切り替えることができます。
Windows Vista®/Windows® 7の場合のみの項目です。（Windows® XP/2000 Professionalの場合は、［プロパティ］－［詳細設定］にて設定することができます。）

[タスクバーに常駐する]：
［タスクバーに常駐する］にチェックをつけるとパソコンを起動したときにタスクバーにサテライトマネージャが表示されます。

[バージョン情報]：
サテライトマネージャのバージョンや無線LAN端末（子機）のドライバのバージョンを確認することができます。

[終了]：
サテライトマネージャを終了します。

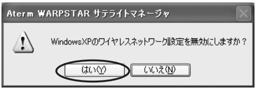
サテライトマネージャを起動するには

サテライトマネージャを終了させたあとに、再度サテライトマネージャを起動するときは、［スタート］をクリックし、［すべてのプログラム］－［Aterm WARPSTAR ユーティリティ］－［サテライトマネージャ］をクリックします。

Windows® XPでサテライトマネージャをご利用になるには

Windows® XPの「ワイヤレスネットワーク設定」でいったん設定を行っていた場合、Windows® XPでサテライトマネージャをご利用になるには、Windows® XPの「ワイヤレスネットワーク設定」を停止する必要があります。

① サテライトマネージャを起動する
② 通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする
③ 次の画面が表示されるので［はい］をクリックする



以上の設定を行うと、Windows® XPでサテライトマネージャが使用できるようになります。P38からのサテライトマネージャでの無線LANアクセスポイント（親機）の登録設定、暗号化設定を行ってください。

サテライトマネージャで無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態を確認する

サテライトマネージャを起動すると、無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）の通信状態を確認することができます。

1 **通知領域（タスクトレイ）の［サテライトマネージャ］アイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択する**

無線LAN端末（子機）が正しく接続されていません。

無線LANアクセスポイント（親機）が正しく検出できています。

無線LANアクセスポイント（親機）がみつかりません。

●無線LANアクセスポイント（親機）との電波の状態は次の通りです。

青3本 強い

青2本 普通

黄2本 弱い

赤1本 限界

2 **［状態］タブをクリックする**

無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）の通信状態が表示されます。

3 **接続状態を確認し、［閉じる］をクリックする**

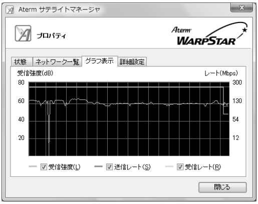
無線の接続状態が「普通」または「強い」と表示されることを確認してください。「普通」または「強い」と表示されないときは、「普通」または「強い」と表示される位置までパソコンを移動してください。

サテライトマネージャで確認できる接続状態について

【グラフ表示】

通信中の無線の受信信号強度やリンク速度をリアルタイムにグラフ表示しています。

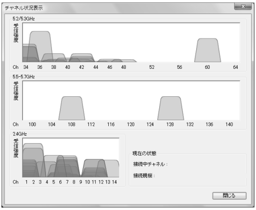
※Windows® 7の64ビット版をご利用の場合は、送信レート、受信レートは表示されません。



【状態】－【チャネル状況】

近くの無線LANアクセスポイント（親機）が、どのチャネルで使われているかを表示します。同じ無線チャネルを使うと、他の無線通信と干渉し、スループットが低下する場合があります。

現在接続中のチャネルは赤で表示されます。



ワイヤレスネットワークの接続（Windows Vista® および Windows® 7/XP の場合）で設定する

Windows Vista® および Windows® 7/XP の場合は、内蔵されている「ワイヤレスネットワークの接続」で無線設定を行うことができます。

※あらかじめパソコンに WL300NC のドライバがインストールされていることをご確認ください。インストールされていない場合は、サテライトマネージャ（☛P19）または、手動で（☛P24）ドライバをインストールしてください。

「ワイヤレスネットワークの接続」は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化モード設定が「暗号化無効」または「WEP(64bit、128bit、152bit※1)」、「TKIP※2」、「AES※2」の場合に、ご利用いただけます。

※1：WEP（152bit）は、Windows® XP（Service Pack1 〜 3）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。Windows Vista®/Windows® 7 ではご利用いただけません。

※2：TKIP、AES は、Windows Vista® または Windows® 7/XP（Service Pack2 または 3）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

通常は、サテライトマネージャで設定してください。（サテライトマネージャで設定する場合、Windows® XP では「ワイヤレスネットワーク設定」を無効にしてください。(☛P47)）

❗ *Windows® XP でサテライトマネージャを使用して設定を行った場合*

Windows® XP の「ワイヤレスネットワーク設定」は無効に設定されます。
Windows® XP の「ワイヤレスネットワーク設定」で無線の設定を行いたい場合は、「ワイヤレスネットワーク設定」を「有効」に設定し、無線 LAN 端末（子機）を接続し直す必要があります。

① サテライトマネージャを起動する
② 通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする
③「詳細設定」タブをクリックする
④「Windows XP のワイヤレスネットワーク設定を無効にする」のチェックを外す

⑤「はい」をクリックする
⑥「閉じる」をクリックする
⑦ 通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャアイコンを右クリックし、［終了］をクリックする
⑧ 無線 LAN 端末（子機）を取り外し、接続し直す

●暗号化設定されている無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続する場合
（☛P48）

●暗号化設定されていない無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続する場合
（☛P64）

■暗号化を設定して無線LANアクセスポイント（親機）に接続する（無線LANアクセスポイント（親機）が暗号化設定されているとき）

無線LANアクセスポイント（親機）が暗号化設定されている場合は、ここで暗号化の設定を行って無線LANアクセスポイント（親機）に接続します。

Windows Vista® をご利用の場合（☛ 下記）
Windows® 7をご利用の場合（☛P53）
Windows® XPをご利用の場合（☛P58）

Windows Vista® の場合

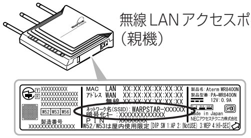
以下の設定はWindows Vista® のワイヤレスネットワークを使用して、64bitWEP/128bitWEP/TKIP/AESをご利用になる場合の説明です。

1 **［スタート］（Windows® のロゴボタン）ー［ネットワーク］ー［ネットワークと共有センター］ー［ネットワークに接続］をクリックする**

※通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして［ネットワークに接続］をクリックする方法もあります。

2 **無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択する**

※無線LANアクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線LANアクセスポイント（親機）の底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-xxxxxx」（xxxxxxは無線LANアクセスポイント（親機）の側面に記載されているMACアドレスの下6桁）です。



※装置図およびラベルは一例です。

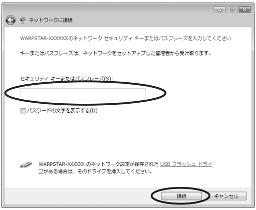
※接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、［接続またはネットワークをセットアップします］をクリックして、手順6へ進みます。

3　**［接続］をクリックする**

※接続に失敗した場合は、
下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。
① ［ネットワークと共有センター］ － ［ワイヤレスネットワークの管理］ をクリックする
② 接続するネットワーク名（SSID)を選択して右クリックし、［ネットワークの削除］をクリックする
③ ［ワイヤレスネットワークの管理］の画面を閉じる
上記の手順が完了したら、手順1から接続し直してください。

4　**無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化キー番号が1番の場合（工場出荷時は1番）、［セキュリティキーまたはパスフレーズ］に暗号化キーを入力し、［接続］をクリックして、手順13に進む**

※無線LANアクセスポイント（親機）と同じ暗号化キーを入力してください。(☛P48)



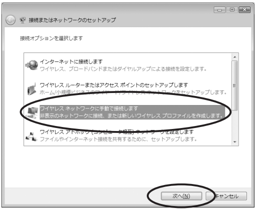
※無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化設定で、暗号化キー番号の2番～4番を使っている場合は、［キャンセル］をクリックして、手順5に進みます。

※一度接続した際の暗号化設定を変更して接続する場合も［キャンセル］をクリックして、手順5に進みます。

5　**［ネットワークと共有センター］－［接続またはネットワークのセットアップ］をクリックする**

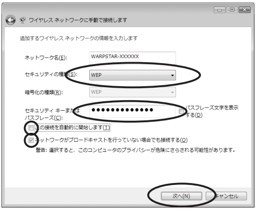
（次ページに続く）

6 ［ワイヤレスネットワークに手動で接続します］を選択し、[次へ］をクリックする



7 表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※無線 LAN アクセスポイント（親機）と同じ暗号化キーを入力してください。(☛P48)



※画面は、暗号化モードで WEP を使用する場合の例です。

〈暗号化モードで TKIP または AES を使用する場合〉

①[ネットワーク名]で無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を入力する

②[セキュリティの種類]で[WPA-パーソナル]または［WPA2-パーソナル］を選択する

③[暗号化の種類]で[TKIP]または[AES]を選択する

④[セキュリティキーまたはパスフレーズ]を入力する
8～63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します
※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。
・8～63 桁の場合
英数記号
【0～9、a～z、A～Z、下記の記号】

!	%	)	-	;	?	]	{
"	&	*	.	<	@	^	|
#	'	+	/	=	[	_	}
$	(	,	:	>	\	`	~

※「?」は、無線 LAN アクセスポイント（親機）によっては使用できない場合があります。
※「\」(バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。
・64 桁の場合
16 進数【0～9、a～f、A～F】
暗号化キーは半角で入力します。

⑤[この接続を自動的に開始します］のチェックを外す

⑥無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合は、［ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する］のチェックを入れる

⑦[次へ]をクリックする

〈暗号化モードで WEP を使用する場合〉

①[ネットワーク名]で無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を入力する

②[セキュリティの種類]で[WEP]を選択する

③[セキュリティキーまたはパスフレーズ]に無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キーを入力する

ASCII 文字/16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

・ASCII 文字の場合：

英数字 5 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合

英数字 13 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合

・16 進数の場合：

0～9 ・ A～F で 10 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合

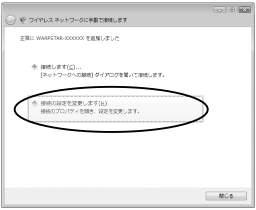
0～9 ・ A～F で 26 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合

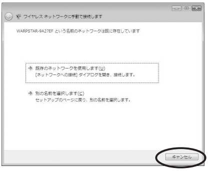
④[この接続を自動的に開始します］のチェックを外す

⑤無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合は、［ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する］のチェックを入れる

⑥[次へ]をクリックする

8 ［接続の設定を変更します］をクリックする





上の画面が表示された場合は、［キャンセル］をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

①［ネットワークと共有センター］－［ワイヤレスネットワークの管理］をクリックする

②接続するネットワーク名（SSID）を選択して右クリックし、［ネットワークの削除］をクリックする

③［OK］をクリックする

④［ワイヤレスネットワークの管理］の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、P49 の手順 5 から接続し直してください。

（次ページに続く）

9 **［セキュリティ］タブをクリックして設定内容を確認する**

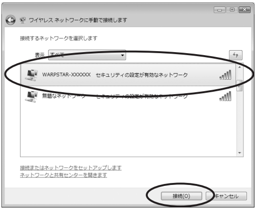
※暗号化モードで WEP を使用する場合は、［キーインデックス］で無線 LAN アクセスポイント（親機）に設定したキー番号を選択します。

※画面は暗号化モードで WEP を使用する場合の例です。

10 **［OK］をクリックする**

11 **［接続します］をクリックする**

12 **無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択し、［接続］をクリックする**



13 **［閉じる］をクリックする**

Windows® 7の場合

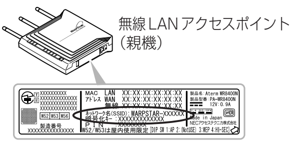
以下の設定はWindows® 7のワイヤレスネットワークを使用して、64bitWEP/128bitWEP/TKIP/AESをご利用になる場合の説明です。

1 通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックする

※[スタート]（Windows®のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］－［ネットワークに接続］をクリックする方法もあります。

2 接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をクリックする

※無線LANアクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線LANアクセスポイント（親機）の底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-xxxxxx」（xxxxxxは無線LANアクセスポイント（親機）の側面に記載されているMACアドレスの下6桁）です。



※装置図およびラベルは一例です。

※接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、［ネットワークと共有センターを開く］－［新しい接続またはネットワークのセットアップ］をクリックして、手順6へ進みます。

（次ページに続く）

3 ［接続］をクリックする

※接続に失敗した場合は、［閉じる］をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

①［ネットワークと共有センターを開く］－［ワイヤレスネットワークの管理］をクリックする

②接続するネットワーク名（SSID)を選択して右クリックし、［ネットワークの削除］をクリックする

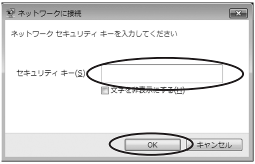
③［はい］をクリックする

④［ワイヤレスネットワークの管理］の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、手順１（☛P53)から接続し直してください。

4 ［セキュリティキー］に暗号化キーを入力して、［OK］をクリックして、手順 13 に進む

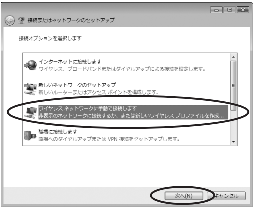
※無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化設定で、暗号化キー番号の２～４番を使用している場合は、［キャンセル］をクリックして、手順５へ進みます。



5 通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックし、［ネットワークと共有センターを開く］－［新しい接続またはネットワークのセットアップ］をクリックする

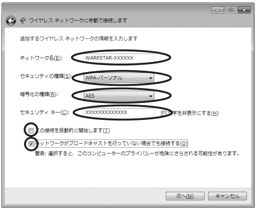
※［スタート］（Windows ®のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］－［新しい接続またはネットワークのセットアップ］をクリックする方法もあります。

6　［ワイヤレスネットワークに手動で接続します］を選択し、［次へ］をクリックする



7　表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※無線 LAN アクセスポイント（親機）と同じ暗号化キーを入力してください。



〈暗号化モードで TKIP または AES を使用する場合〉

①［ネットワーク名］で無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を入力する

②［セキュリティの種類］で［WPA-パーソナル］または［WPA2-パーソナル］を選択する

③［暗号化の種類］で［TKIP］または［AES］を選択する

④［セキュリティキー］に無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キーを入力する

※暗号化キーは半角で、8～63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。なお、大文字（ABCDEF）と小文字（abcdef）は区別されます。（大文字はシフトキーを押しながら入力します。）

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

【8～63 桁の場合】英数記号（0～9、a～z、A～Z、下記の記号）

<table>
<tr><td>!</td><td>%</td><td>)</td><td>-</td><td>;</td><td>?</td><td>]</td><td>{</td></tr>
<tr><td>”</td><td>&</td><td>＊</td><td>.</td><td><</td><td>@</td><td>^</td><td>|</td></tr>
<tr><td>#</td><td>’</td><td>+</td><td>/</td><td>=</td><td>[</td><td>_</td><td>}</td></tr>
<tr><td>$</td><td>(</td><td>,</td><td>:</td><td>></td><td>\</td><td>`</td><td>~</td></tr>
</table>

※「?」は、無線 LAN アクセスポイント（親機）によっては使用できない場合があります。

※「\」（バックスラッシュ）は、パソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64 桁の場合】16 進数（0～9、a～f、A～F）

⑤［この接続を自動的に開始します］のチェックを外す

⑥無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合は、［ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する］のチェックを入れる

⑦［次へ］をクリックする

〈暗号化モードで WEP を使用する場合〉

①［ネットワーク名］で無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を入力する

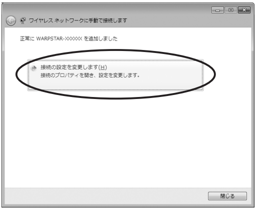
（次ページに続く）

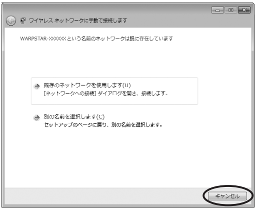
②［セキュリティの種類］で［WEP］を選択する
③［セキュリティキー］に無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キーを入力する
ASCII 文字/16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

・ASCII 文字の場合：
　英数字 5 文字：
　無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合
　英数字 13 文字：
　無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合
・16 進数の場合：
　0～9・A～F で 10 文字：
　無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合
　0～9・A～F で 26 文字：
　無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合

④［この接続を自動的に開始します］のチェックを外す
⑤無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合は、［ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する］のチェックを入れる
⑥［次へ］をクリックする

8 ［接続の設定を変更します］をクリックする





上の画面が表示された場合は、［キャンセル］をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

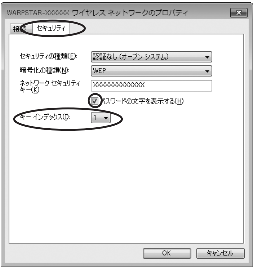
①［ネットワークと共有センターを開く］－［ワイヤレスネットワークの管理］をクリックする
②接続するネットワーク名（SSID)をクリックして右クリックし、［ネットワークの削除］をクリックする
③［はい］をクリックする
④［ワイヤレスネットワークの管理］の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、P54 の手順 5 から接続し直してください。

9　**［セキュリティ］タブをクリックして設定内容を確認する**

※［パスワードの文字を表示する］にチェックを入れると、パスワードが確認できます。

※暗号化モードで WEP を使用する場合は、［キーインデックス］で無線 LAN アクセスポイント（親機）に設定したキー番号を選択します。

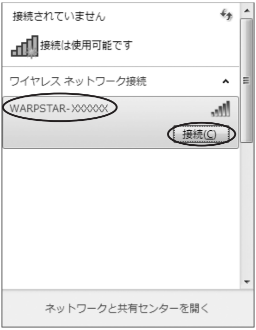


※画面は、暗号化モードで WEP を使用する場合の例です。

10　**［OK］をクリックする**

11　**［閉じる］をクリックする**

12　**通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックして、無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択し、［接続］をクリックする**



13　**［閉じる］をクリックする**

Windows® XP の場合

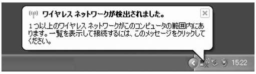
以下の設定は Windows® XP のワイヤレスネットワークを使用して、64bitWEP/128bitWEP/152bitWEP※1/TKIP※2/AES※2をご利用になる場合の説明です。

※1：WEP（152bit）は、Windows® XP（Service Pack1～3）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

※2：TKIP、AES は、Windows® XP（Service Pack2 または 3）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

1 パソコンの画面右下の通知領域に右図のようなバルーンが表示される

表示されないときは（☛P72）

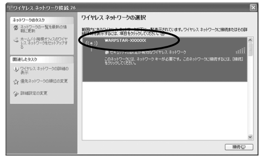


2 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、［利用できるワイヤレスネットワークの表示］をクリックする

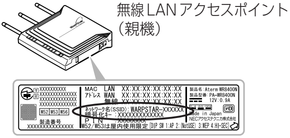
Windows® XP（Service Pack 1）適用前の場合は[利用できるネットワーク]をクリックします。

3 接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択する

※無線LANアクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線LANアクセスポイント（親機）の底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-xxxxxx」（xxxxxxは無線LANアクセスポイント（親機）の側面に記載されているMACアドレスの下6桁）です。

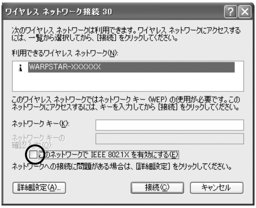


※画面は Windows® XP（Service Pack 2）の場合の例です。Windows® のアップデート状況により画面が異なります。



※装置図およびラベルは一例です。

※[利用できるワイヤレスネットワーク］に使用する無線LANアクセスポイント（親機）が表示されていない場合には、無線LANアクセスポイント（親機）でESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を設定している場合があります。ESS-IDステルス機能を解除するか、無線LAN端末（子機）側の設定をサテライトマネージャで行ってください。



※画面はWindows® XP（Service Pack 1）の場合の例です。

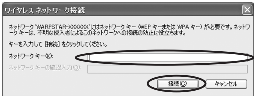
お願い

●［このネットワークでIEEE802.1xを有効にする］の ☑は必ず外してください。

4　Windows® XP（Service Pack 2）の場合は［接続］をクリックする

Windows® XP（Service Pack 2）適用前の場合は、そのまま手順5へ進みます。

5　無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化キー番号が1番の場合、［ネットワークキー］に暗号化キーを入力し、［接続］をクリックする

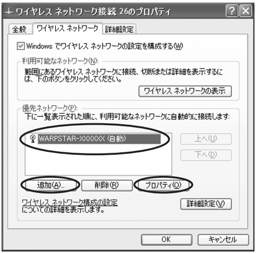


※キー番号に2番～4番を使っている場合や、一度設定した暗号化設定を変更する場合は［キャンセル］をクリックし、手順6に進みます。

6　［詳細設定の変更］をクリックする

Windows® XP（Service Pack 2）適用前の場合は、［詳細設定］をクリックします。

7　［ワイヤレスネットワーク］タブをクリックし、接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をクリックして、［プロパティ］をクリックする

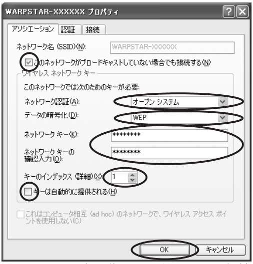


接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）が［優先ネットワーク］（Windows® XP（Service Pack 2）適用前の場合は［優先するネットワーク］）欄に表示されていない場合は、［追加］をクリックします。

（次ページに続く）

8 表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※無線LANアクセスポイント（親機）と同じ暗号化キーを入力してください。(☛P58)



※画面は、暗号化モードでWEPを使用する場合の例です。

■Windows® XP（Service Pack 2）の場合

〈暗号化モードでTKIPまたはAESを使用する場合〉

①[ネットワーク認証]で[WPA-PSK]または[WPA2-PSK]を選択する

②[データの暗号化]で[TKIP]または[AES]を選択する

③[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する

8〜63桁の英数記号または、64桁の16進数で入力します

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

・8〜63桁の場合

英数記号

【0〜9、a〜z、A〜Z、下記の記号】

!	%	)	-	;	?	]	{
”	&	＊	.	<	@	^	|
#	’	+	/	=	[	_	}
$	(	,	:	>	\	`	~

※「?」は、無線LANアクセスポイント（親機）によっては使用できない場合があります。

※「\」(バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

・64桁の場合

16進数【0〜9、a〜f、A〜F】

暗号化キーは半角で入力します。

④無線LANアクセスポイント（親機）でESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を設定している場合は、［このネットワークがブロードキャストしていない場合でも接続する］のチェックを入れる

※Windows® XP（Service Pack 2）でこのチェックボックスがない場合は、無線LANアクセスポイント（親機）でESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を解除してください。

⑤[OK]をクリックする

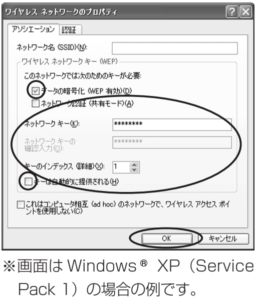
〈暗号化モードで WEP を使用する場合〉

①[ネットワーク認証]で[オープンシステム]を選択する
②[データの暗号化]で[WEP]を選択する
③[キーは自動的に提供される]のチェックを外す
④[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する
ASCII 文字/16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。
・ASCII 文字の場合：
英数字 5 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合
英数字 13 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合
英数字 16 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 152bitWEP を設定している場合
・16 進数の場合：
0 〜 9 ・ A 〜 F で 10 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合
0 〜 9 ・ A 〜 F で 26 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合
0 〜 9 ・ A 〜 F で 32 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 152bitWEP を設定している場合
⑤無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定に合わせてキーのインデックス番号は、1 のまま使用する
⑥無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合は、［このネットワークがブロードキャストしていない場合でも接続する］のチェックを入れる
※Windows ® XP（Service Pack 2）でこのチェックボックスがない場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を解除してください。
⑦[OK]をクリックする

■Windows ® XP（Service Pack 1）の場合

※無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）が設定されている場合は、ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を解除してください。

①[データの暗号化]にチェックする
（画面に［ネットワークアソシエーション］・［データの暗号化］の項目が表示されている場合は、それぞれ「開いています」・「WEP」を選択する）
②[キーは自動的に提供される]のチェックを外す



※画面は Windows ® XP（Service Pack 1）の場合の例です。

（次ページに続く）

③[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する

ASCII文字/16進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

・ASCII文字の場合：

英数字5文字：
無線LANアクセスポイント（親機）に64bitWEPを設定している場合

英数字13文字：
無線LANアクセスポイント（親機）に128bitWEPを設定している場合

英数字16文字：
無線LANアクセスポイント（親機）に152bitWEPを設定している場合

・16進数の場合：

0～9・A～Fで10文字：
無線LANアクセスポイント（親機）に64bitWEPを設定している場合

0～9・A～Fで26文字：
無線LANアクセスポイント（親機）に128bitWEPを設定している場合

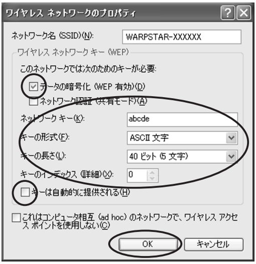
0～9・A～Fで32文字：
無線LANアクセスポイント（親機）に152bitWEPを設定している場合

④無線LANアクセスポイント（親機）の設定に合わせてキーのインデックス番号は、1のまま使用する

⑤[OK]をクリックする

■Windows® XP（Service Pack 1）適用前の場合

※無線LANアクセスポイント（親機）でESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）が設定されている場合は、ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を解除してください。



①[データの暗号化] にチェックする
②[キーは自動的に提供される] のチェックを外す
③[ネットワークキー] は、無線LANアクセスポイント（親機）に入力した暗号化キーを入力する

キーの形式：
無線LANアクセスポイント（親機）で「指定方法」を英数字と設定した場合は、ASCII文字を選択してください。
無線LANアクセスポイント（親機）で「指定方法」を16進数と設定した場合は、16進数を選択してください。

キーの長さ：
無線LANアクセスポイント（親機）で「暗号強度」を標準（64bit）と設定した場合は、40bitを選択してください。
無線LANアクセスポイント（親機）で「暗号強度」を拡張（128bit）と設定した場合は、104bitを選択してください。

キーのインデックス：
無線LANアクセスポイント（親機）で設定されている番号に合わせてください。キーのインデックス（詳細）が0～3と表示されますので、1～4と読み替えてください。（数字が1つずれていますので注意してください。）

④[OK] をクリックする

（次ページに続く）

■無線LANアクセスポイント（親機）に接続する（無線LANアクセスポイント（親機）が暗号化設定されていないとき）

無線LANアクセスポイント（親機）が暗号化設定されていない場合は、下記の手順で無線LANアクセスポイント（親機）に接続します。

Windows Vista® をご利用の場合（☛ 下記）
Windows® 7をご利用の場合（☛P65）
Windows® XPをご利用の場合（☛P67）

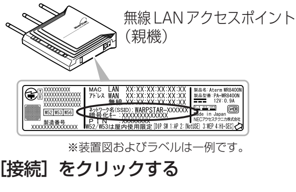
Windows Vista® の場合

1 **［スタート］（Windows® ロゴボタン）ー［ネットワーク］ー［ネットワークと共有センター］ー［ネットワークに接続］をクリックする**

※通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして［ネットワークに接続］をクリックする方法もあります。

2 **接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択する**

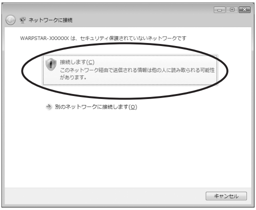
※無線LANアクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線LANアクセスポイント（親機）の底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-xxxxxx」（xxxxxxは無線LANアクセスポイント（親機）の側面に記載されているMACアドレスの下6桁）です。



※装置図およびラベルは一例です。

3 **［接続］をクリックする**

4 **［接続します］をクリックする**



5　［閉じる］をクリックする

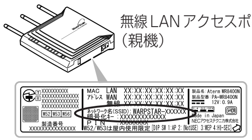
Windows® 7の場合

1　通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックする

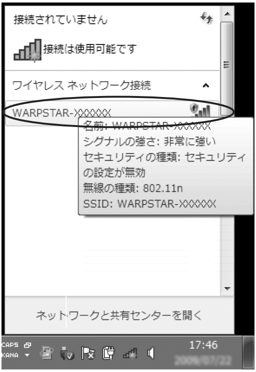
※［スタート］（Windows ®のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］－［ネットワークに接続］をクリックする方法もあります。

2　接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をクリックする

※無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-xxxxxx」（xxxxxx は無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されている MAC アドレスの下 6 桁）です。



※装置図およびラベルは一例です。



3 ［接続］をクリックする

接続されていません
接続は使用可能です
ワイヤレス ネットワーク接続
WARPSTAR-XXXXXX
このネットワーク経由で送信される情報は他の人に読み取られる可能性があります。
自動的に接続する
接続(C)
ネットワークと共有センターを開く

Windows® XPの場合

1 **パソコンの画面右下の通知領域に下図のようなバルーンが表示される**

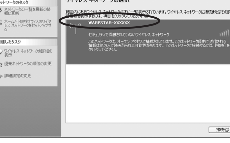
表示されないときは（☛P72）

※画面はWindows® XP（Service Pack 2）の場合の例です。

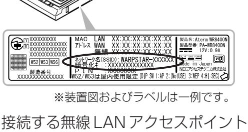
2 **パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、［利用できるワイヤレスネットワークの表示］をクリックする**

Windows® XP（Service Pack 1）適用前の場合は[利用できるネットワーク]をクリックします。

3 **接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択する**



※無線LANアクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線LANアクセスポイント（親機）の底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-xxxxxx」（xxxxxxは無線LANアクセスポイント（親機）の側面に記載されているMACアドレスの下6桁）です。

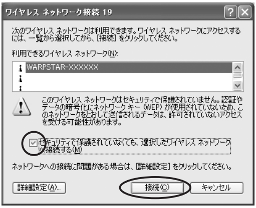


※装置図およびラベルは一例です。

※接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）が表示されていない場合には、無線LANアクセスポイント（親機）でESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を設定している場合があります。ESS-IDステルス機能を解除するか、無線LAN端末（子機）側の設定をサテライトマネージャで行ってください。

（次ページに続く）

●右の画面が表示されたときは、「セキュリティで保護されていなくても、選択したワイヤレスネットワークへ接続する」にチェックを入れて［接続］をクリックしてください。



※画面は Windows® XP（Service Pack 1）の場合の例です。

4 ［接続］をクリックする

5 次の画面が表示された場合は、［接続］をクリックする

6 パソコンの画面右下の通知領域で正しく接続されたことを確認する

■無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには

次の手順で通信状態を確認できます。

1　［スタート］（Windows® ロゴボタン）－［ネットワーク］－［ネットワークと共有センター］をクリックする

※通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして［ネットワーク］をクリックする方法もあります。

※Windows® 7の場合は、通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックし、［ネットワークと共通センターを開く］をクリックします。

※Windows® XPの場合は、通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックします。

2　［状態の表示］をクリックする

※Windows® 7の場合は、［ワイヤレスネットワーク接続］をクリックします。

※Windows® XPの場合は、［状態］をクリックし、［全般］タブをクリックします。

3　無線設定が正しく行われていることを確認する

・［状態］が「有効」になっていること（Windows® XPの場合は、［接続］になっていること）

・［速度］が表示されていること（表示される速度は、接続する無線動作モードによって異なります。）

※画面はWindows Vista® の場合の例です。

4　［閉じる］をクリックする

6 トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。

※無線LANアクセスポイント（親機）の設定、確認方法については、無線LANアクセスポイント（親機）の取扱説明書などを参照してください。ここでは、WR8400Nの場合を例に説明しています。

●無線LAN端末（子機）の接続に関する問題

症　状	原因と対策
ネットワーク名（SSID）を忘れてしまった	●無線LANアクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線LANアクセスポイント（親機）の底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-xxxxxx」（xxxxxxは無線LANアクセスポイント（親機）の底面または側面に記載されているMACアドレスの下6桁）です。 ●サテライトマネージャでも確認することができます。サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」の「ネットワーク一覧」で、「スキャン」をクリックして無線LANアクセスポイント（親機）を検索してください。ネットワーク名（SSID）で無線LANアクセスポイント（親機）を識別できます。 ●無線LANアクセスポイント（親機）のETHERNETポートに接続したパソコンから、クイック設定Webの［無線LAN設定］－［無線LAN設定］内の「無線LANアクセスポイント（親機）設定」で確認することもできます。
暗号化のキーを忘れてしまった	●無線LANアクセスポイント（親機）のETHERNETポートに接続したパソコンから、クイック設定Webの［無線LAN設定］－［無線LAN設定］内の「暗号化」で確認できます。
無線LANアクセスポイント（親機）に接続できない	●無線LANアクセスポイント（親機）の電源が入っているか、確認してください。 ●無線LANアクセスポイント（親機）に無線LANカードを装着している場合は、無線LANアクセスポイント（親機）の拡張カードスロットに無線LANカードが入っているか、しっかり奥まで挿入されているか、確認してください。 ●無線LANアクセスポイント（親機）との距離が離れすぎていないか、確認してください。 ●無線LANカード（子機）のランプのつき方を確認してください。（☛P17）

症　状	原因と対策
無線LANアクセスポイント（親機）に接続できない （つづき）	●ネットワーク名（SSID）があっているか、確認してください。 無線LANアクセスポイント（親機）の設定値は、クイック設定Webの［無線LAN設定］－［無線LAN設定］内の「無線LANアクセスポイント（親機）設定」で確認できます。 ※無線LANアクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線LANアクセスポイント（親機）の底面または側面に貼ってあるラベルに記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-xxxxxx」（xxxxxxは無線LANアクセスポイント（親機）の側面に記載されているMACアドレスの下6桁）です。 ●暗号化を有効にしている場合は、無線LANアクセスポイント（親機）と暗号化設定（暗号化方式、暗号強度、暗号化キー）があっていることを確認してください。暗号化キーは大文字、小文字の区別がありますので、注意して入力してください。また、パソコンや無線LANカードによっては暗号強度、暗号化キーの呼び方が異なる場合がありますのでご注意ください。 ※（例）暗号強度 ・WEP64bit → 40bit ・WEP128bit → 104bit ※（例）暗号化キー ・Windows Vista®/Windows® 7のワイヤレスネットワークでは「セキュリティキー」または「パスフレーズ」 ・Windows® XPのワイヤレスネットワークでは「ネットワークキー」 ●通信モードがあっているか、確認してください。 無線LANアクセスポイント（親機）との通信は「インフラストラクチャ通信」で使用します。 ※サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名（SSID）」をクリックし、「設定」をクリックして確認します。 ●コードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信がきれる場合があります。お互いを数メートル以上離してお使いください。 ●サテライトマネージャの接続先の選択でチェックの入っている接続先を選びなおしてみてください。 ●近くに隣接する無線チャネルを使っている場合は、無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。
無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）の電波状態が悪い	●電波の届く範囲まで無線LAN端末（子機）を移動したり、無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）の向きを変えたりして電波状態を確認してください。

（次ページに続く）

症　状	原因と対策
Windows® XPの［ワイヤレスネットワーク］の設定で、通知領域に「ワイヤレスネットワーク接続」のバルーンが表示されない	●バルーンは一度表示されると消えてしまう場合があります。その場合は、ワイヤレスネットワーク接続のアイコンを右クリックして、「利用できるワイヤレスネットワークの表示」をクリックすると、設定を行うことができます。 ●無線LAN端末（子機）のドライバが正しくインストールされていない場合があります。 P23を参照していったんドライバを削除してから、もう一度ドライバをインストールしてください。
無線状態が良好なのに、通信できない	●固定IPアドレスでお使いの場合は、無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）に接続しているパソコンのネットワーク体系を一致させてください。 例：無線LANアクセスポイント（親機）が192.168.0.1のとき、無線LAN端末（子機）は192.168.0.x
無線状態が良好なのに、速度がでない	●近くに隣接する無線チャネルを使っている場合は、無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。 ●無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）が近すぎる場合は、無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）を1m以上離してください。
AVサーバなどのストリーミングをしていると画像が乱れたり音が飛ぶ	●サテライトマネージャの設定で「ストリーミングモード」が「自動」のときに、画像の乱れや音声の途切れなどが発生する場合は、「ON」に設定してください。 ●AVサーバのレートを低品質に下げてご利用ください。 ●無線状態が悪い場合は、電波状態が良好となるところに移動させてください。

●サテライトマネージャに関するトラブル

症　状	原因と対策
Windows® XP の場合、インストール時に「このパソコンには無線制御用のソフトが既にインストールされているため…」という画面が表示される	●サテライトマネージャのインストールをいったん停止し、パソコンにインストールされている無線制御用ソフトをアンインストールしてから再度サテライトマネージャをインストールしてください。
Windows Vista® および Windows® 7/XP/2000 Professional で、サテライトマネージャがインストールできない	●Administrator 権限のあるユーザーでログオンしていない。 →「Administrator」権限のあるユーザーでログオンしてください。「Administrator」権限のないユーザーではインストールが行えません。
サテライトマネージャは使える状態（青表示）になるが無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続できない	●暗号化を有効にしている場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）と暗号化設定（暗号化方式、暗号強度、暗号化キー）があっていることを確認してください。 暗号化キーは大文字、小文字の区別がありますので、注意して入力してください。 ●Windows® XP をご利用の場合は、[Windows® XP のワイヤレスネットワーク設定を無効にする] 設定になっていることを確認してください。
「ネットワークの参照」で無線 LAN アクセスポイント（親機）が見つからない	●電波状態により、「ネットワークの参照」で無線 LAN アクセスポイント（親機）の電波を検出できない場合があります。 このような場合は、「新規登録」で直接ネットワーク名（SSID）を入力して検索し直してください。 ●無線 LAN アクセスポイント（親機）側のクイック設定 Web の [無線 LAN 設定] － [無線 LAN 設定] の「子機の接続制限」で「ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）」を「使用する」に設定している場合は、「ネットワークの参照」に応答しません。 「新規登録」で直接ネットワーク名（SSID）を入力するか、ETHERNET 接続のパソコンから「子機の接続制限」で「ESS-ID ステルス機能」を「使用する」のチェックを外して「ネットワークの参照」で検索してください。 ●無線 LAN 端末（子機）のドライバが正常に組み込まれていないことが考えられます。ドライバをいったんアンインストールしたあと、再度インストールしてみてください。 ●ETHERNET インタフェースを搭載したパソコンの場合、LAN カードおよび LAN ボードの機能を停止させないと、無線 LAN 端末（子機）のドライバが正しくインストールされない場合があります。LAN カードおよび LAN ボードの機能を停止させてから、設定を行ってください。
[サテライトマネージャ] アイコンが使える状態（青表示）にならない 通信状態が「範囲外」となる	●無線 LAN アクセスポイント（親機）との接続ができていません。 「無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続できない」（☛P70）を確認してください。

症　状	原因と対策
サテライトマネージャが使用できない	●WL300NC（無線LANカード）のドライバが正しくインストールされていない場合があります。 〈Windows Vista®/Windows® 7の場合〉 次の手順でいったんドライバとユーティリティを削除してから、もう一度、ドライバとユーティリティをインストールしてください。 ①［スタート］（Windows® のロゴボタン」）－［すべてのプログラム］－［Aterm WARPSTARユーティリティ］－［ドライバとユーティリティの削除］をクリックする ②ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、［続行］または［はい］をクリックする ③画面の指示に従って、アンインストールを行う 〈Windows® XP/2000 Professionalの場合〉 次の手順でいったんドライバを削除してから、もう一度ドライバをインストールしてください。 ①［スタート］－［すべてのプログラム］－［Aterm WARPSTARユーティリティ］－［ドライバのアンインストール］をクリックする ② 画面の指示に従って、アンインストールを行う ●上記の手順でも正しくインストールされない場合は、下記の手順で再インストールしてください。 〈Windows Vista® の場合〉 ①［スタート］（Windows®のロゴボタン）－［コントロールパネル］をクリックする ②［システムとメンテナンス］をクリックする ③［システム］アイコンをクリックする ④タスク欄の［デバイスマネージャ］をクリックする ⑤［続行］をクリックする ⑥［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする ⑦［NEC AtermWL300NC（PA-WL300NC）Wireless Network Adapter］を右クリックし、「プロパティ」を表示する ⑧［ドライバ］タブで［ドライバの更新］をクリックする 以降は、「機能詳細ガイド」の「無線LAN端末（子機）の使い方」「ドライバのインストール」を参照して再インストールを行ってください。 〈Windows® 7の場合〉 ①［スタート］（Windows®のロゴボタン）－［コントロールパネル］をクリックする ②［システムとセキュリティ］をクリックする ③［システム］アイコンをクリックする ④タスク欄の［デバイスマネージャー］をクリックする ⑤［はい］をクリックする ⑥［ネットワークアダプター］をダブルクリックする ⑦［NEC AtermWL300NC（PA-WL300NC）Wireless Network Adapter］を右クリックし、「プロパティ」を表示する ⑧［ドライバー］タブで［ドライバーの更新］をクリックする 以降は、「機能詳細ガイド」の「無線LAN端末（子機）の使い方」「ドライバのインストール」を参照して再インストールを行ってください。

症　状	原因と対策
サテライトマネージャが使用できない （つづき）	〈Windows® XPの場合〉 ①［スタート］－［コントロールパネル］をクリックする ②［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする ③［システム］アイコンをクリックする ④［ハードウェア］タブをクリックする ⑤［デバイスマネージャ］をクリックする ⑥［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする ⑦［NEC AtermWL300NC（PA-WL300NC）Wireless Network Adapter］を右クリックし、［プロパティ］を表示する ⑧［ドライバ］タブで［ドライバの更新］をクリックする 以降は、「機能詳細ガイド」の「無線LAN端末（子機）の使い方」「ドライバのインストール」を参照して再インストールを行ってください。 〈Windows® 2000 Professionalの場合〉 ①［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックする ②［システム］アイコンをダブルクリックする ③［ハードウェア］タブをクリックする ④［デバイスマネージャ］をクリックする ⑤［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする ⑥［NEC AtermWL300NC（PA-WL300NC）Wireless Network Adapter］を右クリックし、［プロパティ］を表示する ⑦［ドライバ］タブで［ドライバの更新］をクリックする 以降は、「機能詳細ガイド」の「無線LAN端末（子機）の使い方」「ドライバのインストール」を参照して再インストールを行ってください。

7 製品仕様

WL300NC 仕様

■ 仕様一覧

項目		諸元および機能				備考
端末インタフェース		CardBus インタフェース				
無線 LAN インタフェース	IEEE802.11n	周波数帯域/チャネル	2.4GHz 帯（2,400～2,484MHz）/ 1～13ch 5GHz 帯	J52	34/38/42/46ch	
				W52	36/40/44/48ch ※屋内限定	
				W53	52/56/60/64ch ※屋内限定	
				W56	100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch	
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式/搬送波数 56 MIMO（空間多重）方式			
		伝送速度＊1	[HT20] 130/117/104/78/52/39/26/13Mbps [HT40] 300/270/243/216/162/108/81/54/27Mbps （自動フォールバック）			
	IEEE802.11a	周波数帯域/チャネル	5.2GHz 帯 5150-5250MHz ※屋内限定	J52	34/38/42/46ch	
				W52	36/40/44/48ch	
			5.3GHz 帯 5250-5350MHz ※屋内限定	W53	52/56/60/64ch	
			5.6GHz 帯 5470-5725MHz	W56	100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch	
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式			
		伝送速度＊1	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps （自動フォールバック）			
	IEEE802.11b	周波数帯域/チャネル	2.4GHz 帯（2,400～2,484MHz）/ 1～13CH			
		伝送方式	DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式			
		伝送速度＊1	11/5.5/2/1Mbps （自動フォールバック）			
	IEEE802.11g	周波数帯域/チャネル	2.4GHz 帯（2,400～2,484MHz）/ 1～13CH			
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式/搬送波数 52			
		伝送速度＊1	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps （自動フォールバック）			
	セキュリティ	SS-ID、WEP（152/128/64bit）、WPA-PSK（TKIP、AES）、WPA2-PSK（TKIP、AES） ※Windows Vista®/Windows® 7 では WEP（152bit）は対応しておりません ※IEEE802.11n では WPA-PSK（AES）、WPA2-PSK（AES）のみ対応になります				

項　目		諸元および機能	備　考
無線LAN インタフェース	通信モード	アクセスポイント通信	
	その他機能	ユーティリティ（サテライトマネージャ）対応	
ヒューマン インタフェース	状態表示ランプ	状態表示LED×2（ACT、PWR）、LED色：緑色	
	LED動作	通信時　　：同時点滅（通信量により点滅速度変化） 通信待機時（無線LinkUPのみ）：ゆっくりした同時点滅 非動作時　：消灯	
利用可能OS		Windows Vista® 日本語版かつ32ビット（×86版）、Windows® 7日本語版かつ32ビット（×86）版または64ビット（x64）版、 Windows® XP 日本語版、 Windows® 2000 Professional 日本語版	
認証		端末機器認証、特定無線設備の認証	
電源		DC3.3V × 750mA	パソコンから給電
消費電流		750mA（最大）	
消費電力		2.5W（最大）	
外形寸法		約54（W）×121（D）×12（H）mm（Max）	
質量（本体のみ）		約0.05kg	
動作環境		温度0～55℃、湿度10～90%	結露しないこと
VCCI		VCCIクラスB	

＊1：規格による理論値上の速度であり、ご利用の環境や接続機器などにより実際のデータ速度は異なります。

MEMO

● 電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。

● ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載·無断複写することは禁止されています。
（2）本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り·記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
（4）本製品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
（5）セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。
（6）せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

● 廃棄方法について

本商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。
詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。

お願い

- ●お問い合わせやアフターサービスについては、別紙をご参照ください。
- ●パソコンの設置や操作方法などについてのお問い合わせは、各パソコンのサポートセンターなどへお願いいたします。
- ●ADSL など回線接続の条件などについてのお問い合わせは、各通信事業者またはプロバイダへお願いいたします。

この取扱説明書は、古紙配合の再生紙を使用しています。

NEC アクセステクニカ株式会社
Aterm WL300NC 取扱説明書　第 2 版

AM1-000568-002
2010 年 1 月